

# “和合の郷”土呂久に 学ぶ環境学 6

～ヒ素汚染の歴史と、土の中のヒ素  
から読み解く土呂久の今と未来～

かつて高千穂町土呂久はヒ素による公害を経験しましたが、現在は自然景観豊かな集落です。

本講座では、土呂久の歴史を振り返るとともに、最新の科学的知見から「土の中のヒ素」を読み解き、地域の現在と未来について考えます。

土

5/16

13:30～15:30

13:00開場

参加無料  
定員30名  
申込先着順

## ヒ素とはどんなもの？

13:30～

ヒ素化合物は毒物として知られる一方で、半導体材料に利用されるなど多面的な性質をもちます。ヒ素の特徴についてわかりやすく概説します。

大榮 薫氏  
工学教育研究部  
准教授

## 土の中の身近なヒ素

13:50～

伊藤 健一 氏

国際連携機構 国際連携センター・准教授

硫黄山の噴火や温泉などでみられる自然由来ヒ素と人の活動で生じる人為由来ヒ素の違い、土の中のヒ素の挙動などを、わかりやすく解説します。



## 伴走して55年 土呂久の魅力を語る 14:55～



川原 一之 氏

宮崎大学・客員教授

砒素公害を経験した土呂久には魅力があふれていました。その一つが人間の魅力です。私をひきつけてやまなかった土呂久での人間交流史を語ります。

会場 錦本町ひなたキャンパス（宮崎市錦本町4-5）

問い合わせ先：宮崎大学 学び・学生支援機構

申込受付開始日：令和8年4月15日（水）

TEL：0985-58-7188（平日9：00-16：00）

MAIL：chiikijinzei@miyazaki-u.ac.jp

